

明日のビルクリーニングに思う

「算盤勘定」を超え 「志」を共有した会社に

株式会社エヌビーエム 代表取締役
多田 雅彦

ビルメンテナンスに深い愛着を抱き、明日の発展を願って業界や企業を導くリーダーが、将来のあるべき姿、そのビジョンを語る。

目に見えない大きな力に導かれて

私は常々、社員にこう申します。「私たちは生きているのではなく、生かされているのだよ」と。

「あなたがこの世に存在していること自体、奇跡なのです。お父さん、お母さん、お祖父さん、お祖母さんも含めて10代さかのばれば、ご先祖様の数は2千名以上にも及びます。そのご先祖様たちが誰一人欠けることなく幾多の苦難（災害や戦争など）を乗り越え、命のバトンを繋いできてくれたからこそ、あなたがいるのです。ご先祖様たちはきっとあなたを見守ってくれています。その想いに応えるべく、いまを精一杯生き、生かして頂いていることに日々、感謝いたしましょうね」と。

人は往々にして忙しさのあまり、現実という目で見える世界しか見えなくなりがちですが、こういった話を社員に聴かせますと、少しだけ目では見ることのできない世界の存在に気づいて頂けます。

29歳のとき、東京で売れない歌手生活を過ごす“ならず者”でフリーターだった私が、青雲の志（スタッフ全員が胸を張って「お掃除しております」と自慢できる会社を創る）を持ち、この会社を創業してもうじき19年目を迎えます。振り返れば、決して

て順風満帆な道程ではありませんでした。

自らの至らなさが招いた結果として、半数の社員が一気に退職するという危機的状況を迎えたり、不採算現場を抱え込み大赤字となったり。「もうやめよう」と本気で思ったこともありましたが、「窮すれば通ず」で、そんなときほど、不思議なご縁のもと、ピンチを乗り越えるための知恵や勇気を与えてくれるどなたかとの出会いが確実にあるのです。

それが「我が人生の師」と仰ぐ方との出会いであり、また現在、代表幹事を務めさせて頂いているJ B Q（日本ビルメン経営品質協議会）の方々との出会いです。皆様方の叱咤激励やアドバイスのおかげで、かろうじていまも会社が存在するわけです。

この良運と巡りあえたのは、当然、目で見える世界での「算盤勘定」から至ったわけではなく、目で見えない世界からの大いなる力に導かれた結果であると実感しています。これこそ私自身が「生かされている」証拠であり、「志を為し遂げよ」との神様＝ご先祖様からの強いご意思と心得ています。

よって、これからも、社業を通じて「人としてどうあるべきか」を自らが示しながら、世のため人のために尽くさねばならないし、毎朝、神棚（神様＝ご先祖様）に手を合わせる（志を遂げるための

誓いと生かされていることへの感謝）と事務所のトイレ掃除は欠かさず自ら行っていこうと思います。

「経営理念＝志」を一つに

当社がいま、一番に力を入れて取り組んでいるのは、経営理念を軸とした価値観の共有化です。

経営理念とは、その会社の存在理由であり、社に関わるすべての人で達成せねばならない共通の目的＝「志」です。ゆえに社員に対しては徹底的に「経営理念＝志」教育を行い、理解と納得、その実現に向けた本人の覚悟を見極め、採用しています。

当社では、「志をともにできるかどうか」が最優先の判断基準です。経験や技術力は二の次、ましてや給料や待遇面だけを優先して考える方は採用していません。算盤勘定してから動く、単なる利だけで動く人びとのことを、お釈迦様は「最も犬や猫に近い人である」と説いています。

しかしこれが人の世であり、利で動くことを無視しては成り立たないのも事実です。けれど、少なくとも「こんな会社をともに創っていこう」と、夢と志、理想を同じくし、喜びと悲しみを同じくしてくれる幹部社員が何人いてくれるかが、会社の永続的発展を望むうえで大切な要素と考えています。

現場スタッフにおいても、面接時に経営理念の理解と納得をご本人に確認したうえで採用するのですが、まずお伝えするのは、「当社は労働と賃金の交換場ではありません」ということです。

働くきっかけは「お金のため」かもしれませんが、その目的までお金だけでは豊かな人生とは言えないと思いますし、「飯を食うのも大切だけど、飯の食い方ってやつもあるでしょう」と私は申し上げます。また、お金が目的の方は利己的になりがちで利他の心は芽生えにくく、お客様への心配りやおもてなしの気持ちなどはなかなか繋がりません。

当社では、お客様から頂く料金相応のサービスに加えて、「感動の提供」を目的としている以上、それでは極めて役不足なうえ、「経営理念＝志」を共有できない方を採用すると、スタッフそれぞれのベクトルも曖昧となり、その結果、組織の和が保てな

くなるからです。

このような組織全体で志を一致させるための取り組みは、採用後も朝礼や研修などを通じてことあるごとに行い、それには莫大な時間と労力と費用をかけています。こうした努力は、算盤勘定をあまり得意としない私だからこそ続けられているのかもしれませんが……（笑）。

ねばり強く！「理念経営」に取り組む

もちろん、算盤勘定なきところでは足元を危ぶむ可能性があり、先立つものがなければ何もできないことも事実です。しかし、われわれが携わるビルメンは「はじめに人ありき」です。まさに「品質＝人質」と言える業界でありながら、「はじめに金儲け」ではなかなかいい人材は育たないと思います。

企業は人なりと申しますが、会社の永続的発展を目指し、本気でお客様や社会にお役立ちできる人材を育てようとするなら、モップやほうきの扱いを教える前に、「人としてどうあるべきか」と「働く目的＝志」について共感を得ることが先のように思います。社員との間にその共通基盤がなければ、いくら教育やコミュニケーションの時間を増やしても何も積み上がってはいかない気がします。

当社でもこうした「理念経営」に本気で取り組みだして5年あまり、全社員に理念が浸透しているかといえばまだまだですが、今後もねばり強く続けていくことが「よい人、よい会社」を創り、「よい社会」を創ることでもあると信じ、これを自らの使命と強く受けとめ、社員、家族とともに頑張っていこうと思っています。

まだまだこれからです！

Profile ●ただ まさひこ

1966年9月香川県琴平町生まれ。1997年7月株式会社エヌビーエムを設立、代表就任。経営理念は「よりよい生活空間を美創する」。その目的として「従業員とその家族の幸せの実現」「お客様への“感動！”の提供」「地域社会から愛され信頼される“よい人、よい会社”の創造」を掲げる。日本ビルメン経営品質協議会（JBQ）代表幹事。

